



2019年度文部科学大臣優秀教職員として表彰

第一小学校 浅羽 敦子 教諭



PROFILE

あさば あつこ(菊川市奈良野)
第一小学校教諭。教職歴は21年目。
現在は1年生の学級担任と学年主任を担当。
趣味は子育て
焼き肉が大好き

文部科学大臣から表彰を受ける

2019年度文部科学大臣優秀教職員として表彰された第一小学校の浅羽敦子教諭が1月16日、柳澤市長を訪ね受賞を報告した。

今回の受賞は、県教育委員会などの選考を経て文部科学省が審査したもの。県内では23人が受賞し、中東遠地区の小学校教諭では浅羽教諭のみとなる。浅羽教諭を推薦した勤務校の増田久美子校長は「児童の心を開く学級経営に定評があり、保護者からの信頼も厚く若手教諭の将来モデルになっています。本校で実施している新学習指導要領の理念に基づいた研修では、児童が広く深い知識を身に付けられるよう、積極的に授業研究に励んでいます」と話した。

優れた指導のコツとは

浅羽教諭は、子どもと関わるのが好きだったことから、高校生の時に小学校教諭になることを決意したという。その理由は「一緒にドッジボールをして遊びたかったから」とニコリ。

児童への指導で心掛けていることを伺うと「どのような授業を展開したら目を輝かせてくれるかを考えています。いつでも子どもが主人公。教員の自己満足にならないように気を付けています。1年生にとっては義務教育のスタート。保育園や幼稚園に通っていた頃と同じように小学校もおもしろいんだ、みんなやると授業は楽しいんだと思わせたいんです」と笑顔で話してくれた。実際に授業をのぞいてみると、どの児童もくいつい入るように話を聞いていた。

1番の魅力は「人柄」

優れた授業力により文部科学省大臣から表彰されただけでなく、担任や学年主任を務め、責任や周囲からの期待が大きくなる中、「最近では全然子どもたちとドッジボールができてないんです」と眉をひそめる浅羽教諭からは愛嬌のある人柄が感じられる。

「周囲の人に支えられて現在があります。今後とも子どもの笑顔をつくれるような関わりをしていきたい」と語る彼女の活躍に期待したい。